

## 伝統校の現状は？田中愛さんがインタビュー

# 自主自律の精神で学び合う場

県立岡山朝日高等学校、県立倉敷青陵高等学校は、ともに県下屈指の伝統校。自主自律をモットーに、高い志の生徒らが切磋琢磨(せっさたくま)し合う両校生徒に、1児の母でもあるフリーアナウンサーの田中愛さんがインタビューしました。



### 岡山県立倉敷青陵高等学校

今年で創立115年。国公立大学への現役合格率が県内トップレベルを誇る、倉敷地区の伝統校「倉敷青陵高等学校」。同校の教育方針は、予測が難しい今、員がただ一方的に教えるのではなく、問題を投げかけ、それに対応して生徒同士が話し合い、答えを導き出す対話型の授業を採用しています。社会的課題を自分で見つけ解決するまで導く青陵探究、ICTを活用した授業など、多くの魅力です。



#### 生徒会の小野さん・後藤さんに聞きました

高め合える仲間と全力で支えてくれる先生がいる一常に成長していくける場所



左から小野日向汰さん(3年)、後藤颯太さん(2年)、内田博文校長、田中愛さん、能開センター倉敷校・岡林孝太郎先生、岡山本部・八田宣弘先生

#### Q1、青陵高校の魅力とは？

後藤さん 自分が学びたいと思った分だけ学べる環境が整っています。休み時間や放課後に自習をする生徒も多く、自身も刺激を受け自然に勉強の時間が増えました。どんどん高め合える仲間がいるのが青陵の魅力です。

小野さん 勉強面や進路面はもちろん、部活動やその他の活動など何にでも挑戦できる環境を整えてくれ、全力でサポートしてくれる先生方がいるのも大きな支えです。

Q2、青陵を目指し中学時代に意識していた勉強法は？

後藤さん 数学が好きで中3の時に数検準2級に挑戦しました。高校レベルの問題を学ぶ中で、中学範囲の問題も理解が深まりました。興味のあることから勉強を深めていくことがお勧めです。

小野さん 中学の教科書には高校で学ぶ内容に、やんわりと触れていることがあります。そこに興味を持ち、先生に聞くなどして深堀りしていくことが結果、受験に役立ちました。

#### Q3、未来の後輩にメッセージを

後藤さん 自分のやりたいこと、学びたいことをしっかりと持ってきてください。青陵はそれを持つほど、その分成長できる場所ですよ。

小野さん 「青陵に来なきゃよかった」と言う生徒に出会ったことがありません。本校に来て後悔することは絶対にありません。もし進路で迷っている人はぜひ、青陵を目指してください。

岡山県立倉敷青陵高等学校

倉敷市羽島1046-2

086-422-8001



## 生徒と教師が一丸となり高みを目指す 高質な学び・生徒のニーズをかなえる伝統校



### 岡山県立岡山朝日高等学校

幅広い分野で優れた人材を輩出してきた「岡山県立岡山朝日高等学校」。グローバルに活躍する卒業生を招いての講演会や講座が多く、目標となる先輩の話を聞くことができる恵まれた環境になります。

進路指導では入れる大学ではなく、入るべき大学を目指すようサポート。東大・京大をはじめとする難関大学への合格者を多く輩出しています。「部活動」「学

校行事」「学習」の三矢を追う生徒が多数。

文武両道を高いレベルで実現しています。

令和4年度から「学術探求系」がスタート

し、2年生になる時、文系「理系」「学術

探求系」のいずれかを選択できるようになります。

「学術探求系」は、授業の一部に、自分の

特別な活動を組み込み、興味関心のあるテーマを探究する時間を持つことができます。

朝日ならではの魅力的な行事が多数

個性的な生徒が互いを認め合う校風

富士登山。希望者が多く抽選になるそう

左から能開センター岡山校・北村英喜先生、同岡山本部・八田宣弘先生、田中愛さん、久富晴太郎さん(2年)、深田智樹さん(2年)、平田善久校長

## 高い志・個性・才能を大切に育む伝統校 興味ある分野を深める学術探求系もスタート

田中愛のインタビュームモ

生徒お2人の話しぶりから、多様な個性を持つ仲間たちを心からリスペクトして高め合っている様子が伝わってきました。「自主自律」を掲げる朝日高校の校風が、その個性と能力をさらに尖らせ伸ばしているのだなと感じました。部活動や生徒会活動と勉強の両立のコツは、一週間ごとに計画表を作りタスクを「見える化」して隙間時間をうまく活用することのこと。社会人も頼負けの時間術に脱帽です。

田中愛のインタビュームモ

生徒お2人の話しぶりから、多様な個性を持つ仲間たちを心からリスペクトして高め合っている様子が伝わってきました。「自主自律」を掲げる朝日高校の校風が、その個性と能力をさらに尖らせ伸ばしているのだなと感じ